

口上

二十日頃帰るつもりでしたので帰ってから申し上げるつもりでしたが、具合が悪くて遅れています。

辞書のことで文部省に参り、文部省大学術局研究助成課長中西勝治（工博）に会ったら二月五日迄に文部省に到着する様に申請書を出せと云ふことであった。好意を持って呉れています。之れは研究費名義で資料買入（新字の研究）や人件費、旅費（研究者の集会○）等を予算にとり込めるのではないかと思ふ。年額三十万円位、二年間分位申請したら如何かと思ふ。

出版の補助は其上で改めて出すことになる、之れは異なる課の方であり一二年後でよろしかるべし。

次に岩波へ行き、取締役岩波雄二郎氏に会って出版費どの位かかるか援助を受けられるかを聞きました処、これは語数等他詳細のことが判らぬと判断しかねるとの事であったが好意は持っています。之れも急がなくなるともよろしいと思いますが何れ担当者が上京したら何らかの教示を願ふ旨申して来ました。

それで、研究助成名義で此際文部省に計画と予算を組み申請したら如何かと思ふ。何分よろしく願ふ。期日ハ二月五日迄に文部省に到着する様にとの事、之れが遅れるとだめとの事（今年は）、内山君の給料も入れて見たら如何ですか。判つきハ内山君の名前を出して研究に専従することを書いてよいと思ふが。

研究助成の事、毎々やり居り小岩井先生よく知っていますから御相談され度く私の方よく判りません。

本間

小岩井先生

鈴木先生

侍史

一三日中に帰ります

〔注〕 文部省科研究費申請について、鈴木・小岩井教授宛 本間学長の口上。

一九五六年一月二六日のものか。愛大名古屋分校用箋使用。